

環境報告書

Environmental Report

2013



株式会社 エスアールエル

CONTENTS

編集方針 …… 1

企業理念／会社概要 …… 2

- 企業理念
- エスアールエルグループが受託する臨床検体検査
- 会社概要

社長メッセージ …… 3

環境方針 …… 4

- エスアールエルグループ環境保全推進宣言
- エスアールエル環境方針

環境影響 …… 5

- エスアールエルの事業活動と環境への影響

2012年度 環境への取り組み …… 6

- 環境教育の実施
- エネルギー使用量の削減
- 廃棄物の削減
- 行政への報告
- CO₂ 排出量削減施策

TOPICS 2012年度 EMS 活動 …… 9

- 八王子ラボ群の感染性廃棄物の取り組み
- 本社エリア移転
- 低燃費車への切り替え
- 福岡ラボの節電の取り組み

編集後記 …… 12

ISO14001 認証事業所 MAP …… 13

事業所一覧 …… 14

● 編集方針

皆さまにエスアールエルの環境管理活動を知っていただくため 2011年より「環境報告書」を発行しています。本報告書は、環境影響、取り組み、EMS 活動について、可能な限りデータを開示し、「読みやすく」「わかりやすく」を心がけて作成しております。「環境報告書」は、以下の内容を中心にご報告させていただきます。

- エスアールエルの事業活動による環境影響
- エスアールエルの環境への取り組み
- エスアールエルのEMS活動

また、できるだけ多くの皆さまとコミュニケーションを図っていくため、ホームページでの公開と冊子を発行しています。

「環境報告書 2013」は、以下の内容に準拠し、作成しています。

● 準拠するガイドライン

本報告書は、「環境報告書ガイドライン（2007年版）」（環境省発行）に準拠しています。

● 報告対象期間

2012年度（2012年4月1日～2013年3月31日）

● 対象組織の範囲

検査ラボラトリーおよび営業所を含む全事業所の環境関連データを収集し、掲載しています。

*EMSとは、Environmental Management System（環境マネジメントシステム）の略です。

企業理念／会社概要

企業理念『健康で豊かな社会づくりに貢献する』

● エスアールエルグループの求める5つの価値

顧客本位 ▶ 私たちは、常にお客さまの視点を重視したサービスを開発し、提供します。

品質主義 ▶ 私たちは、あらゆる活動において、限りなく品質の向上を追求します。

情報重視 ▶ 私たちは、さまざまな情報や情報システムを活用することで、新しい価値を生み出します。

標準志向 ▶ 私たちは、健康を願うすべての人々に、標準となるような優れたサービスを開発し、提供します。

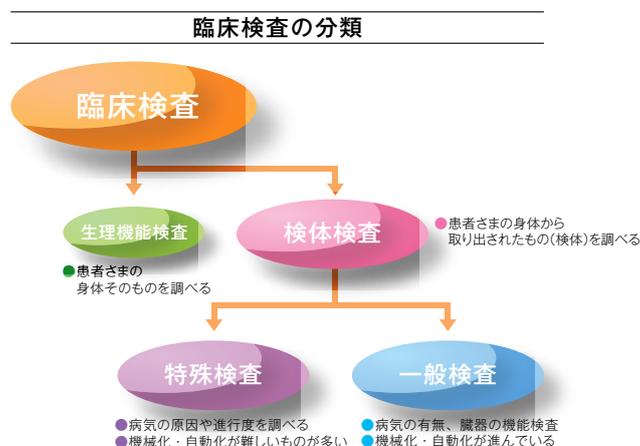
個の尊重 ▶ 私たちは、お客さま、従業員、一人ひとりを尊重し、個々の可能性を信じて活動します。



エスアールエルグループが受託する臨床検体検査

臨床検査とは、診療を目的に患者さまの身体をさまざまな方法で病気の有無等を調べる検査です。

臨床検査には、生理機能検査と検体検査があり、エスアールエルグループは、検体検査全般のアウトソーシングを承っており、なかでも特殊検査に強みをもっております。



会社概要

- 社名** 株式会社エスアールエル
- 設立** 1970年(昭和45年)6月16日
- 本社** 〒163-0409 東京都新宿区西新宿二丁目1番1号 TEL: 03-6279-0900 (大代表)
- 代表者名** 代表取締役社長 小川 眞史
- 事業内容** 受託臨床検査事業、感染防止商品販売
- 資本金** 11,027百万円(2013年3月31日現在)
- 事業所** 八王子ラボラトリー等の主要ラボラトリーおよび、全国営業所
- 従業員数** 1,927名(2013年3月31日現在)

社長メッセージ

企業のあるべき姿として、環境保全活動に積極的に取り組むことで社会的責任を果たしてまいります。

創業以来、私たちは「健康で豊かな社会づくりに貢献する」という企業理念のもと、受託臨床検査事業を中心に活動を進めてまいりました。

昨今の異常気象や人口増加、資源の枯渇など、環境保全は地球規模で取り組むべき課題と考えています。エスアールエルでは、企業のあるべき姿としてこのような問題に対し、環境保全活動に積極的に取り組んでいくことで社会的責任を果たしてまいります。

エスアールエルでは、2010年に全社でISO14001の認証を取得し、環境への配慮が企業文化のひとつとして根付いてまいりました。

全社的な環境活動を進めていく中で、80ヶ所以上ある営業拠点においては、2012年度末より、低燃費・低排出ガス車両への切り替えを順次進めております。

これからも私たちは、より環境に配慮した企業活動に取り組んでまいります。

本報告書が私たちの取り組みをご理解いただくための一助となりましたら、幸甚でございます。

代表取締役社長 小川 眞史



環境方針

エスアールエルグループ環境保全推進宣言

エスアールエルグループは、地域の環境保全はもとより、広く地球環境の保全が人類ならびに地球上の生物にとって重要な課題であることを認識します。

また、環境負荷の少ない持続可能な社会システムづくりが経営において重要な課題であることを認識して、環境に配慮した事業活動を推進します。

事業に関わる省エネ・省資源・廃棄物削減の推進を通して、より良い地球環境の実現に向けた活動に取り組んでいきます。

エスアールエル環境方針

エスアールエルの環境活動の指針である環境方針は、2011年にISO14001の全社認証取得を機に、内容を明快・簡潔なものに刷新いたしました。

エスアールエルは、あらたな環境方針のもと、省エネ・省資源活動の目標に向け挑戦してまいります。

● 環境配慮

私たちは、環境に配慮した事業活動を目指し、人と環境に優しい検査サービスや製品を社会に提供いたします。

● 省エネ・省資源

私たちは、あらゆる活動において、省エネ、省資源行動をおこない、限りある資源を有効に活用します。

● 汚染の予防

私たちは、化学物質の適正管理、廃棄物の適正分別・リサイクルを推進し、汚染の予防に努めます。

● 法規制遵守

私たちは、適用を受ける環境に関する法規制・条例・地域協定など、要求事項を明確にし、遵守します。

● EMSの改善・向上

私たちは、環境活動の目的・目標を定め、定期的に見直し、環境活動の継続的な改善を図ります。

環境影響

● エスアールエルの事業活動と環境への影響

エスアールエルの事業活動を通じ、全事業所の環境影響を把握し、環境保全に配慮した活動を展開しています。

インプットデータとして各種エネルギー・消耗品、アウトプットデータとして各種エネルギーから排出されるCO₂ 排出量・廃棄物のデータを把握しています。

これらの環境影響に対し、省エネルギー活動，廃棄物の低減，紙のリサイクルを推進することで、環境負荷の低減を目指してまいります。

● エスアールエル全社 2012年度 環境影響データ



電気使用量 ……………33,877 千kWh	重油使用量 ……………28kL
都市ガス使用量 ……………1,171 千m ³	上水道使用量 ……………192 千m ³
LPG(プロパンガス)使用量 …… 1,436kg	試薬の使用
ガソリン使用量 ……………1,891 kL	検体の使用
灯油使用量 ……………85kL	検査消耗品の使用
軽油使用量 ……………42kL	事務消耗品の使用



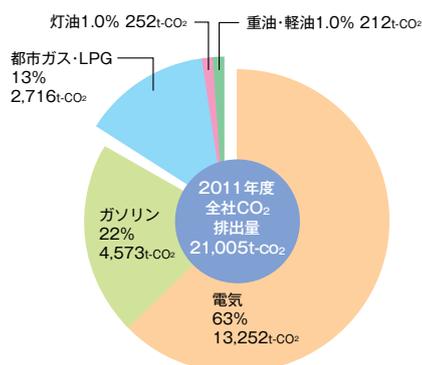
CO ₂ 排出量 ……………23,574 t-CO ₂	一般廃棄物 ……………403 t
排水量 ……………185 千m ³	産業廃棄物 ……………932 t
紙リサイクル ……………615 t	特別管理産業廃棄物 …… 767 t

2012年度 環境への取り組み

環境教育の実施

全構成員には、「環境方針」をはじめ、EMS 活動、法規制、化学物質など、環境に関する幅広い教育を実施しています。環境教育は、毎年内容を見直し、新しい内容で取り組んでいます。

エネルギー使用量の削減



2012年度のEMS活動開始にあたり、2011年度全社エネルギー使用量をCO₂排出量に換算して、使用状況を調査しました。

内訳として、CO₂排出量の85%が電気・営業車のガソリン使用によるものであり、2012年度も引き続き、以下の2つを環境負荷軽減の取り組み目標といたしました。

- ① 電気使用量の削減・・・CO₂削減【全社共通目標】
- ② 車両燃費の向上・・・【営業共通目標】

① 電気使用量の削減

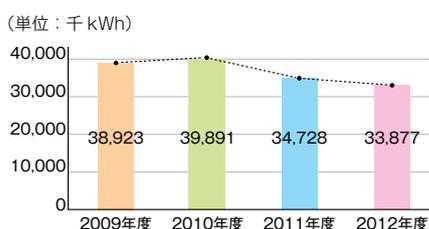
2012年度は、電気使用量の削減のため、2011年度の施策を継続しました。設備投資施策としては、「福岡ラボ細菌検査室の空調改善」を実施しました。

● 電気使用量の削減施策

区分	施策	実施内容
全社共通	【継続】 空調の運用改善	<空調設定温度の徹底> 夏期：従来設定温度より2℃アップ，冬期：2℃マイナス
	【継続】 照明節電	照明の間引き、昼休み・無人スペースの消灯
	その他	クールビズの早期開始（5～10月） ウォームビズの導入（11月～翌年3月）
エリア限定	【設備投資】空調の改善	福岡ラボの細菌検査室の空調機器の効率化

● 電気使用量の年間比較

2012年度の電気使用量は、以下の結果となりました。全社共通の削減施策の徹底に加え、設備投資施策により、2011年度より更なる削減をすることができました。



項目	2010年度	2011年度	2012年度	対前年比
電気使用量	39,891	34,728	33,877	2.5%減

2012年度 環境への取り組み

② 車両燃費の向上

2012年度は、「車両燃費の向上」として、以下の取り組みを実施しました。

● 車両燃費の向上・施策

No	施策	実施内容
1	エコドライブの啓蒙活動	エコドライブマニュアルの再読、日常点検の恒常化
2	低燃費車両への切り替え	低燃費車への切り替えの優先実施

● 車両燃費の年間比較

2012年度の車両燃費は、以下の結果となりました。

エコドライブの定着、2012年期末より低燃費車両への切り替えが始まりました。

2013年度は、全社保有車両の30%を低燃費車両への入れ替えを予定しています。

(単位：km/L)

項目	2010年度	2011年度	2012年度	対前年比
車両燃費	14.0	14.1	14.0	0.7%低下

③ CO₂ 排出量

2012年度は施策の徹底により、全社のエネルギー使用量は削減しましたが、電気のCO₂排出係数*の見直しにより、CO₂の排出量は増加となりました。

(単位：t-CO₂)

項目	2010年度	2011年度	2012年度	対前年比
CO ₂ 排出量	23,863	21,005	23,574	12.2%増

*CO₂排出係数：CO₂の排出量を算出する際に用いる係数

<電力会社別 CO₂排出係数>

(単位：t-CO₂/kWh)

電力会社	北海道電力	東北電力	東京電力	中部電力	北陸電力	関西電力	中国電力	四国電力	九州電力	沖縄電力
2012年度	0.000485	0.000547	0.000464	0.000518	0.000641	0.00045	0.000657	0.000552	0.000525	0.000932
2011年度	0.000353	0.000429	0.000375	0.000473	0.000423	0.000311	0.000728	0.000326	0.000385	0.000935

● 廃棄物の削減

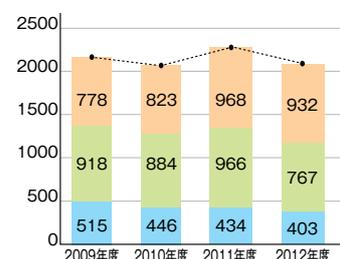
2012年度の廃棄物量は、11.2%削減の結果となりました。

(単位：t)

項目	2010年度	2011年度	2012年度	対前年比
廃棄物量	2,153	2,368	2,102	11.2%減

<廃棄物量の内訳>

(単位：t) ■ 産業廃棄物 ■ 特別管理産業廃棄物 ■ 一般廃棄物



八王子ラボ群で、2011年期末より稼働した「廃棄物処理システム」により、処理能力が大幅にアップし、八王子ラボ群の全事業所の処理が可能となり、感染性廃棄物(特別管理産業廃棄物)の排出量が減少しました。

「廃棄物処理システム」で処理された廃棄物は、固形化燃料としてリサイクルされ、廃棄物総量の削減に貢献しています。

行政への報告

(1) 省エネルギー法

① エネルギー使用状況(原単位報告)

項目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
原単位	0.03311	0.03340	0.02885	0.02741
対前年比	—	0.9%増	13.6%減	5.0%減

原単位：原油換算値 / 報告テスト数
対象：全事業所
努力義務：原単位前年比1%以上削減

② 温室効果ガス排出量の状況

(単位：t-CO₂)

項目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
CO ₂ 排出量	20,058	19,090	16,323	19,079
対前年比	—	4.8%減	14.5%減	16.9%増

エネルギー使用量は削減されましたが、CO₂排出量は、CO₂排出係数の見直しにより増加となりました。

(2) 東京都地球温暖化対策

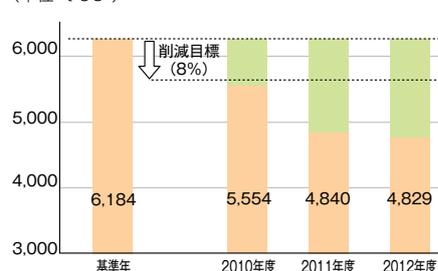
(単位：t-CO₂)

項目	基準年	2010年度	2011年度	2012年度
CO ₂ 排出量	6,184	5,554	4,840	4,829
対基準年比	—	10.2%減	21.7%減	21.9%減

対象施設：八王子ラボラトリーの一部(第1・第2ラボ)、日野管理棟
基準年：2005～2007年のCO₂排出量平均値
削減義務：CO₂排出量基準年比8%以上の削減(2010～2014年の5年間平均値)

※対前年比は、小数点以下の処理の為、必ずしも一致しない場合があります。

(単位：t-CO₂)



CO₂ 排出量削減施策

エスアールエルでは、CO₂ 排出量の削減として「省エネルギー法」「東京都地球温暖化対策」の施策に取り組んでまいります。人的努力だけでなく、設備のリプレイス、高エネルギー効率の設備、照明のLED化等、最新技術の導入に努めてまいります。

<2012年度実施済み CO₂排出量の削減施策>

事業所	施策
福岡ラボ	福岡ラボの細菌検査室の空調機器の効率化
八女分室	事業所の統合(久留米営業所へ)
富山ラボ	事業所の統合(金沢ラボラトリーへ)

<今後実施予定 CO₂排出量の削減施策>

事業所	施策
全事業所	照明改善 (機器の高効率化)
八王子ラボ	照明改善 (LED化、人感センサーの導入)
	照明改善 (機器の高効率化)
	空調機の統合
	冷却水ポンプの流量調整
	検査 冷蔵室の集約
福岡ラボ	空調改善 (集中から一部個別制御へ)
相模原ラボ	空調改善 (集中から一部個別制御へ)

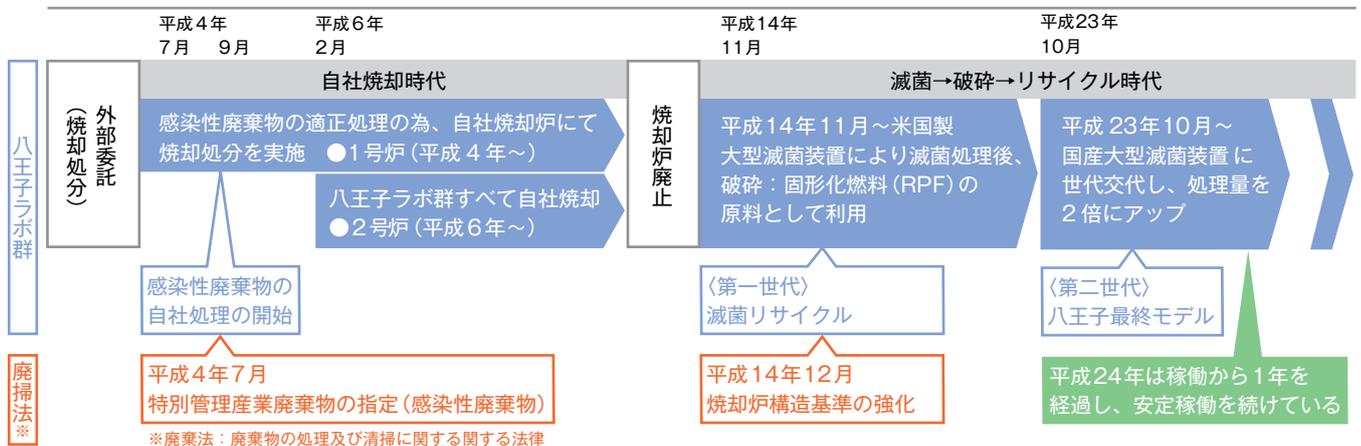
● 八王子ラボ群の感染性廃棄物の取り組み

エスアールエルは、早くから医療系廃棄物の適正処理に取り組み、その時代に応じた処理を実施してまいりました。八王子ラボでは、感染性廃棄物は事業所内で中間処理実施の方針から、平成4年より自社焼却を開始しました。その後、ダイオキシン抑制のための焼却炉構造基準強化の法規制をきっかけに、中間処理を見直しました。新しい処理方法は、感染性廃棄物の主なものがプラスチック類であることに着目し、滅菌後の廃棄物を固形化燃料として再利用する方法です。

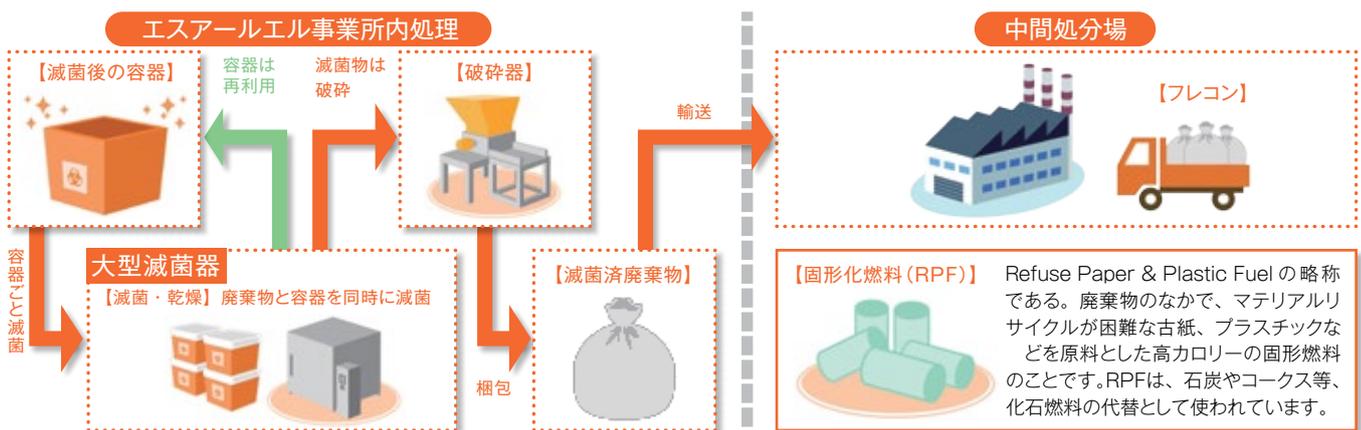
<p><第一世代> 平成14年～</p> <ul style="list-style-type: none"> ●滅菌・破碎装置を導入 ●八王子ラボ群(当時3ラボ)で処理開始(年間約320トン) ●滅菌後の感染性廃棄物を固形化燃料(RPF)として出荷 	<p><第二世代の改良点> 平成23年～</p> <ul style="list-style-type: none"> ●処理能力の大幅アップ ●感染性廃棄物の収集・運搬の安全性を向上 ●国産設備を採用し、メンテナンス体制の充実
--	---

稼働1年後(平成24年)には、年間約540トンの処理が可能となりました。エスアールエルの感染性廃棄物の新たな取り組みは、自社処理の拡大・継続が注目され、医療機関からも見学希望、環境省や日本産業廃棄物振興処理センターの視察もありました。エスアールエルは、循環型社会形成の一助となるよう、今後も廃棄物の適正処理を推進してまいります。

● 八王子ラボ群における感染性廃棄物処理の変遷



● 第二世代の感染性廃棄物リサイクルフロー図



感染性廃棄物のリサイクル処理

検査室での分別

このリサイクル処理には、素材別の分別が不可欠で、分別徹底が不十分ですとリサイクルの継続はできません。

従来の分別（鋭利物・固形物・液状物）に加え、固形化燃料に適さないものを除外する必要がありました。

除外例は、検査で使用する「ゴム手袋」です。（焼却時、硫化物を発生するため）
八王子ラボ群では、従業員への「廃棄物関連の勉強会」を定期的で開催し、「感染性廃棄物の分別ポスター」の掲示等、分別の徹底を推進しています。



感染性廃棄物の容器

感染性廃棄物を検査室から滅菌処理装置まで運搬するため、リターンペールを採用しました。

プラスチック容器で、感染性廃棄物が漏れ出すことはありません。

外部委託処理用ペールと区別するため、オレンジ色とし、リターンペールは、滅菌後、再使用しております。



リターンペール



外部委託処理用ペール



環境省の「感染性廃棄物処理マニュアル」では、感染性廃棄物を入れた容器には、関係者が一目で感染性廃棄物であることを識別できるように「バイオハザードマーク」を添付することを奨励しています。

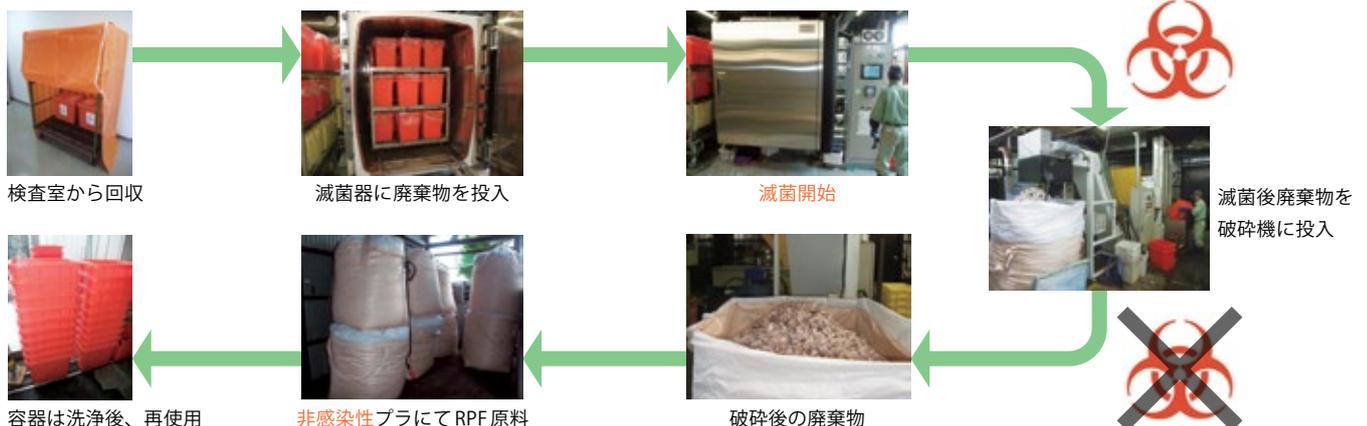
感染性廃棄物の滅菌工程

リターンペールに入れた感染性廃棄物は、容器ごと高圧蒸気滅菌装置で滅菌されます。

121℃以上20分以上の滅菌時間を保ち、1回で45個の感染性廃棄物を処理します。

滅菌後は、リターンペールより内容物を取り出し、滅菌したことを明らかにするため、破碎処理を行います。

破碎された廃棄物は、固形燃料(RPF)の原料として出荷します。



● 本社エリア移転



エスアールエル社は、2012年10月末に立川から東京都心の新宿三井ビルに移転いたしました。

新宿三井ビルは、「優良特定地球温暖化対策事業所認定」※を取得し、積極的に環境対策へ取り組んでいるビルです。また、敷地内の緑化はもとより、ビルテナントから構成される「CO₂削減推進協議会」を定期的に開催しています。

本社エリアでは、パソコンはデスクトップから省電力のノート型に全面切り替えをし、使用電力の削減に努めています。ごみの分別は、ビル規則の17種類に分別し、各部署のEMS委員により廃棄状況の確認を定期的に実施しています。

本社エリアは、今後も新宿三井ビルの一員として環境対策に取り組んでいきます。

※優良特定地球温暖化対策事業所認定

東京都が定めるCO₂削減の管理体制・建物設備性能・事業所設備の運用に関する審査内容の優れた事業所としてCO₂削減義務率を緩和する認定制度

● 低燃費車への切り替え

エスアールエルは、EMS活動として、全国の営業車両の燃費向上を全社一丸となって取り組んでまいりました。

2012年期末より、更なる燃費の向上、CO₂削減を目指し、リースアップの車両から順次、低燃費・低排出ガス車両への切り替えを開始いたしました。2013年度末までに、350台の切り替えを予定しております。



● 福岡ラボの節電の取り組み



福岡ラボの細菌検査室は、2台の空調機器が老朽化のため、エネルギー使用効率が悪化しておりました。

今回、老朽化機器2台のうち1台を停止、1台に改良を加え新たにインバーター機能により、風量調整が可能となり、さらなる消費電力の抑制につながりました。その結果、年間で約12万kWhの電力使用量の削減をすることができました。

福岡ラボ全体では、「細菌検査室の空調改善」「検査部の再編」により、2012年度比8%の電気使用量が削減されました。

編集後記

「環境報告書」の発行も、早や3号目となりました。この間過去データも蓄積でき、毎年の活動評価について定量的比較が可能となりました。編集作業を通じて、継続することの大切さを担当者全員で感じているところです。

さらに、社内の環境への関心も高まり、職場単位での自主活動も具体的な行動が見られるようになりました。これからは、この状態をいかに継続させていくかの視点が重要になってくると感じています。また、編集部署としては、編集作業も習熟し効率性も向上してきましたが、日常業務の中の単なる年間行事の作業にならぬように、常に新鮮さを読まれる方に感じていただける視点と感性を高め、これからも皆さんに有用な報告書としてお届けできるように奮闘したいと思います。

環境管理責任者 楠木 明仁

発行部署

株式会社エスアールエル 総務部
東京都新宿区西新宿二丁目1番1号
発行月 2013年11月
ホームページ <http://www.srl-group.co.jp>

問い合わせ先

株式会社エスアールエル
TEL 03-6279-0900 (大代表)
FAX 03-6279-0971

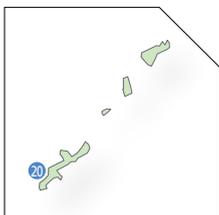
ISO14001 認証事業所 MAP

エリア名	No.	拠点名
九州検査部	①	福岡ラボトリー 九州・四国営業部 福岡営業所 健康営業所
	②	筑後ラボトリー
九州・四国営業部	③	福岡西出張所 福岡西ラボトリー
	④	北九州営業所 北九州ラボトリー
	⑤	筑豊駐在所 筑豊ラボトリー
	⑥	久留米営業所 久留米ラボトリー
	⑦	大牟田分室 大牟田ラボトリー
	⑧	佐賀営業所 佐賀ラボトリー
	⑨	長崎営業所 長崎ラボトリー
	⑩	佐世保出張所 佐世保ラボトリー
	⑪	熊本営業所 熊本ラボトリー
	⑫	天草駐在所 天草ラボトリー
	⑬	大分営業所 大分ラボトリー
	⑭	中津駐在所 中津ラボトリー
	⑮	宮崎営業所 宮崎ラボトリー
	⑯	都城駐在所 都城ラボトリー
	⑰	延岡駐在所 延岡ラボトリー
	⑱	鹿児島営業所 鹿児島ラボトリー
	⑲	出水駐在所 出水ラボトリー
	⑲	沖縄営業所
	⑲	山口営業所
	⑲	徳島営業所
	⑲	高松営業所
	⑲	松山営業所
	⑲	高知営業所

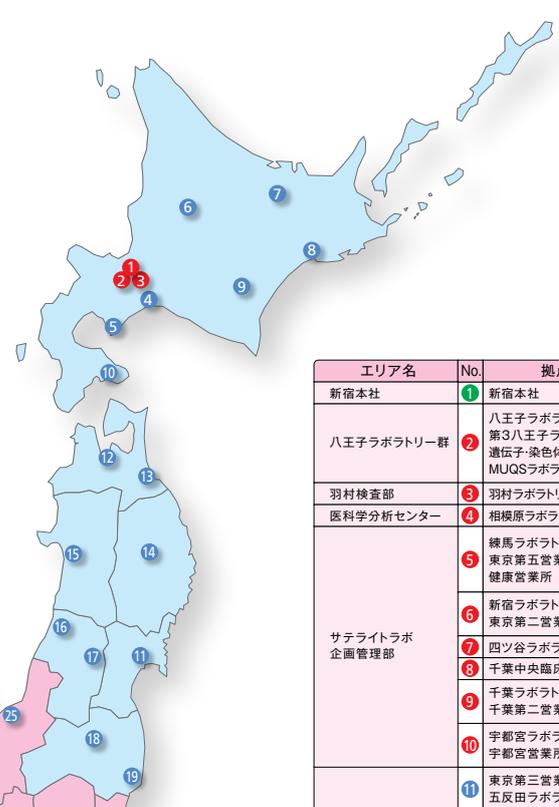
エリア名	No.	拠点名
北海道検査部	①	北海道ラボトリー 北海道・東北営業部 札幌営業所
	②	北海道ラボトリー第2ラボ
	③	札幌ステーションラボトリー
北海道・東北営業部	④	苫小牧出張所
	⑤	室蘭分室
	⑥	旭川営業所
	⑦	北見出張所
	⑧	釧路営業所
	⑨	帯広分室
	⑩	函館営業所
	⑪	仙台営業所
	⑫	青森営業所
	⑬	八戸出張所
	⑭	盛岡営業所
	⑮	秋田営業所
	⑯	山形営業所
	⑯	酒田出張所
	⑯	福島中央営業所
	⑯	いわき出張所

エリア名	No.	拠点名
北陸検査部	①	金沢ラボトリー 金沢営業所
静岡検査部	②	静岡ラボトリー 静岡営業所
	③	沼津ラボトリー 沼津営業所
愛知検査部	④	愛知ラボトリー 名古屋第二営業所
	⑤	豊川ラボトリー
東海・北陸営業部	⑥	東海・北陸営業部 名古屋第一営業所
	⑦	岐阜営業所
	⑧	岡崎営業所
	⑨	三重営業所
	⑩	浜松営業所
	⑪	富山営業所
	⑫	福井出張所
	⑬	能登出張所

エリア名	No.	拠点名
関西検査部	①	関西ラボトリー 近畿・中国営業部 大阪中央営業所 健康営業所
	②	大阪北営業所
	③	大阪南営業所
	④	京都営業所
近畿・中国営業部	⑤	福知山駐在所
	⑥	滋賀営業所
	⑦	神戸営業所
	⑧	姫路営業所
	⑨	奈良営業所
	⑩	和歌山営業所
	⑪	岡山営業所
	⑫	広島営業所
	⑬	福山営業所
	⑭	島根営業所



- 本社
- 検査ラボトリー
- 営業所



エリア名	No.	拠点名	
新宿本社	①	新宿本社	
八王子ラボトリー群	②	八王子ラボトリー 第3八王子ラボトリー 遺伝子・染色体解析センター MQUSラボトリー	
	③	羽村ラボトリー	
羽村検査部	④	相模原ラボトリー	
医科学分析センター	⑤	練馬ラボトリー 東京第五営業所 健康営業所	
サテライトラボ 企画管理部	⑥	新宿ラボトリー 東京第二営業所	
	⑦	四ツ谷ラボトリー	
	⑧	千葉中央臨床検査センター	
	⑨	千葉ラボトリー 千葉第二営業所	
	⑩	宇都宮ラボトリー 宇都宮営業所	
	首都圏第一営業部	⑪	東京第三営業所 五反田ラボトリー
		⑫	東京第四営業所
		⑬	健康営業所(大森)
		⑭	横浜第一営業所 横浜ラボトリー
		⑮	横須賀出張所
⑯		横浜第二営業所	
⑰		厚木営業所	
⑱		千葉第一営業所	
⑲		埼玉営業所	
⑲		川越営業所	
⑲		茨城営業所	
首都圏第二営業部	⑲	つくば出張所	
	⑲	北関東営業所	
	⑲	群馬営業所	
	⑲	新潟営業所	
	⑲	長野営業所	
	⑲	飯田駐在所 飯田ラボトリー	
	⑲	松本分室	
	⑲	大北分室 大北ラボトリー	
	⑲	上田営業所 上田ラボトリー	
	⑲	山梨営業所	
	企画営業部	⑳	企画営業部 首都圏第一営業部 東京第一営業所
システム管理部	㉑	システム管理部	
	㉒	八王子営業所	
	㉓	感染防止商品グループ	

事業所一覽

検査ラボラトリー

- エスアールエル八王子ラボラトリー**
〒192-8535 八王子市小宮町 5-1
- エスアールエル羽村ラボラトリー**
〒205-0003 羽村市緑ヶ丘 3-5-5
- エスアールエル相模原ラボラトリー**
〒252-0245 相模原市中央区田名塩田 1-3-14
- エスアールエル北海道ラボラトリー**
〒064-0919 札幌市中央区南 19 条西 13-2-25
- エスアールエル金沢ラボラトリー**
〒920-0376 金沢市福増町北 839
- エスアールエル静岡ラボラトリー**
〒420-0803 静岡市葵区千代田 1-1-39
- エスアールエル愛知ラボラトリー**
〒485-0072 小牧市元町 2-186-2
- エスアールエル関西ラボラトリー**
〒552-0013 大阪市港区福崎 1-1-54
- エスアールエル福岡ラボラトリー**
〒816-0906 大野城市中 2-1-8

北海道・東北営業部

- 札幌** Tel 011-511-9991
〒064-0919 札幌市中央区南 19 条西 13-2-25
- 苫小牧** Tel 0144-34-1170
〒053-0022 苫小牧市表町 3-2-13
- 旭川** Tel 0166-33-7908
〒078-8220 旭川市 10 条通 22-2-1
- 北見** Tel 0157-25-6101
〒090-0040 北見市大通西 3-11-1
- 釧路** Tel 0154-24-5221
〒085-0008 釧路市入江町 3-19
- 函館** Tel 0138-53-4750
〒040-0011 函館市本町 8-18
- 青森** Tel 017-773-1317
〒030-0802 青森市本町 1-2-20
- 八戸** Tel 0178-20-4191
〒039-1165 八戸市石堂 4-5-16
- 仙台** Tel 022-287-0550
〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町 8-1
- 盛岡** Tel 019-645-3100
〒020-0141 盛岡市中屋敷町 1-57
- 秋田** Tel 018-823-1250
〒010-0951 秋田市山王 6-10-9
- 山形** Tel 023-687-3011
〒990-2161 山形市漆山 488-1
- 酒田** Tel 0234-22-7551
〒998-0012 酒田市下安町 14-2
- 福島中央** Tel 0243-36-2715
〒969-1104 本宮市荒井宇青田原 209-10
- いわき** Tel 0246-25-2271
〒970-8008 いわき市平中平窪細田町 3-4

首都圏第一営業部

- 東京第一** Tel 03-5642-7651
〒103-0007 中央区日本橋浜町 2-62-5
- 東京第二** Tel 03-5332-6581
〒169-0074 東京都新宿区北新宿 2-21-1
- 東京第三** Tel 03-5487-1320
〒141-0031 品川区西五反田 8-3-6
- 東京第四** Tel 03-5284-1681
〒120-0034 足立区千住 1-12-1
- 東京第五** Tel 03-5920-2451
〒179-0082 練馬区練 2-9-14

- 八王子** Tel 042-586-4415
〒191-0002 日野市新町 5-4-2
- 横浜第一** Tel 045-314-0201
〒220-0004 横浜市西区北幸 2-10-27
- 横浜第二** Tel 045-476-5281
〒222-0033 横浜市港北区新横浜 1-13-12
- 厚木** Tel 046-824-2866
〒238-0004 横須賀市小川町 4-6
- 千葉第一** Tel 043-214-2751
〒264-0024 千葉市若葉区高品町 1597-5
- 千葉第二** Tel 047-491-0391
〒270-1436 白井市七次台 3-18-1
- 埼玉** Tel 048-836-3161
〒336-0027 さいたま市南区沼影 1-20-1
- 川越** Tel 049-239-3450
〒350-0809 川越市鯨井新田 6-1
- 健康** Tel 03-3937-1165
〒179-0082 練馬区錦 2-9-14

首都圏第二営業部

- 茨城** Tel 029-251-0004
〒311-4141 水戸市赤塚 1-2067-3
- つくば** Tel 029-827-2271
〒300-0034 土浦市港町 1-5-15
- 北関東** Tel 0283-21-6671
〒327-0022 佐野市高砂町 2866-1
- 宇都宮** Tel 028-648-5911
〒320-0851 宇都宮市鶴田町 1557-1
- 群馬** Tel 027-252-3521
〒371-0846 前橋市元総社町 1-2-3
- 新潟** Tel 025-283-2828
〒950-0965 新潟市中央区新光町 16-4
- 長野** Tel 0266-58-0800
〒392-0027 諏訪市湖岸通り 5-11-104
- 上田** Tel 0268-26-5121
〒386-0041 上田市秋和 200-1
- 山梨** Tel 055-228-3552
〒400-0031 甲府市丸の内 3-32-12

東海・北陸営業部

- 名古屋第一** Tel 052-704-4735
〒465-0051 名古屋市名東区社が丘 1-308
- 名古屋第二** Tel 0568-77-5255
〒485-0072 小牧市元町 2-186-1
- 沼津** Tel 055-923-2005
〒410-0011 沼津市岡宮 749-2
- 静岡** Tel 054-247-7855
〒420-0803 静岡市葵区千代田 1-1-39
- 浜松** Tel 053-464-3666
〒433-8122 浜松市中区上島 4-4-23
- 岡崎** Tel 0564-26-0811
〒444-0044 岡崎市康生通南 2-54-1
- 三重** Tel 059-264-7761
〒514-0004 三重県津市栄町 1-840
- 岐阜** Tel 058-296-7407
〒502-0847 岐阜市早田栄町 3-42
- 金沢** Tel 076-269-3241
〒920-0376 金沢市福増町北 839
- 福井** Tel 0776-53-6533
〒910-0837 福井市高柳 2-1301
- 能登** Tel 0767-22-8050
〒925-0015 羽咋市大川町ヤ 160-9
- 富山** Tel 076-452-0630
〒930-0827 富山市上飯野 33-3

近畿・中国営業部

- 大阪北** Tel 06-6833-4019
〒560-0083 豊中市新千里西町 1-1-8
- 大阪南** Tel 072-223-0236
〒590-0063 堺市堺区中安井町 3-2-13
- 大阪中央** Tel 06-6573-5196
〒552-0013 大阪市港区福崎 1-1-54
- 京都** Tel 075-803-6312
〒604-8811 京都市中京区壬生賀陽御所町 3-1
- 滋賀** Tel 077-586-4182
〒520-2331 野洲市小篠原 1205
- 神戸** Tel 078-367-6571
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-3-3
- 姫路** Tel 079-289-0711
〒670-0964 姫路市豊沢町 135
- 奈良** Tel 0744-24-6431
〒634-0006 橿原市新賀町 237-1
- 和歌山** Tel 073-472-8436
〒640-8341 和歌山市黒田 46-3
- 健康** Tel 06-6573-5114
〒552-0013 大阪市港区福崎 1-1-54
- 広島** Tel 082-263-2677
〒732-0811 広島市南区段原 2-17-2
- 島根** Tel 0852-22-7152
〒690-0006 松江市伊勢宮町 519-1
- 岡山** Tel 086-244-3871
〒700-0975 岡山市北区今 4-14-5
- 福山** Tel 084-931-2451
〒720-0067 福山市西町 2-10-1

九州・四国営業部

- 山口** Tel 083-973-2801
〒754-0014 山口市小郡高砂町 1-8
- 徳島** Tel 088-656-8990
〒770-8053 徳島市沖浜東 3-2
- 高松** Tel 087-867-4053
〒761-8071 高松市伏石町 2078-10
- 松山** Tel 089-923-8331
〒790-0062 松山市南江戸 3-7-38
- 高知** Tel 088-884-2712
〒781-8121 高知市葛島 2-7-13
- 福岡** Tel 092-504-4060
〒816-0906 大野城市中 2-1-8
- 福岡西** Tel 092-891-6439
〒819-0005 福岡市西区内浜 1-7-1
- 北九州** Tel 093-653-3635
〒805-0014 北九州市八幡東区茶屋町 5-3
- 久留米** Tel 0942-45-3115
〒839-0811 久留米市山川神代 1-9-10
- 佐賀** Tel 0952-32-3981
〒849-0933 佐賀市御本町 4-2
- 長崎** Tel 095-839-2181
〒851-0103 長崎市中里町 1765-1
- 佐世保** Tel 0956-39-3913
〒859-3214 佐世保市権常寺 1-4-10
- 熊本** Tel 096-384-7611
〒861-8039 熊本市東区長嶺南 1-1-100
- 大分** Tel 097-543-3556
〒870-0030 大分市三芳字福原 1071-1
- 宮崎** Tel 0985-53-6156
〒880-0911 宮崎市大字町吉 5744-3
- 鹿児島** Tel 099-281-8821
〒890-0034 鹿児島市田上 8-3-33
- 沖縄** Tel 098-861-6131
〒900-0034 那覇市東町 26-1
- 健康** Tel 092-504-5745
〒816-0906 大野城市中 2-1-8



SIRIL 株式会社 エスアールエル
Communication for Health

